

(2) 兵庫県尼崎市の例

外国籍住民の増加を受け、令和2年度から行政窓口の多言語化を図るために電話通訳・テレビ通訳を導入している。しかしながら、既存の行政窓口は外国籍住民にとって言語等の違いからハードルが高く、外国籍住民は複合的に悩みを抱えていたり、どこに何を相談すれば良いかの判断が難しいことから、悩み事解決だけでなくニーズの把握も同時に行うことを目的とした外国人総合相談センターの設置に至ったもの。

時期	イベント
R2.8	●他都市行政視察
R2.10	●予算協議 ●外国人受入環境整備交付金申請準備
R3.2	●外国人受入環境整備交付金事前相談
R3.3	●外国人受入環境整備交付金内示 ●多言語相談員の調整
R3.4	●外国人総合相談センターの窓口整備に係る委託（机、椅子等の設置等）
R3.5	●外国人総合相談センター開設

